



あさくさの灯

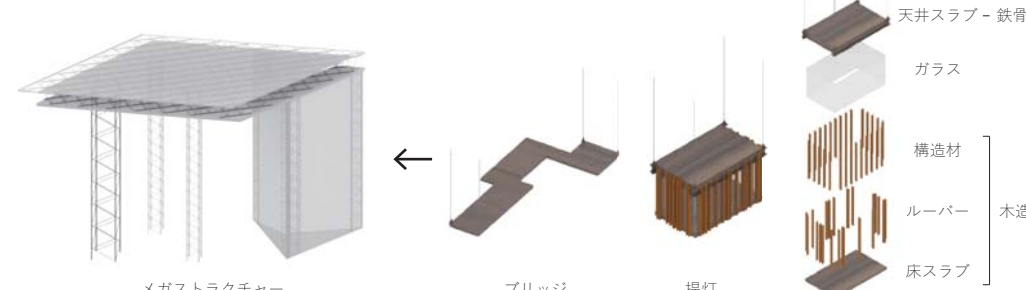
浅草を世界に発信する、もう一つの大提灯

01. 魅力の尽きない街「浅草」



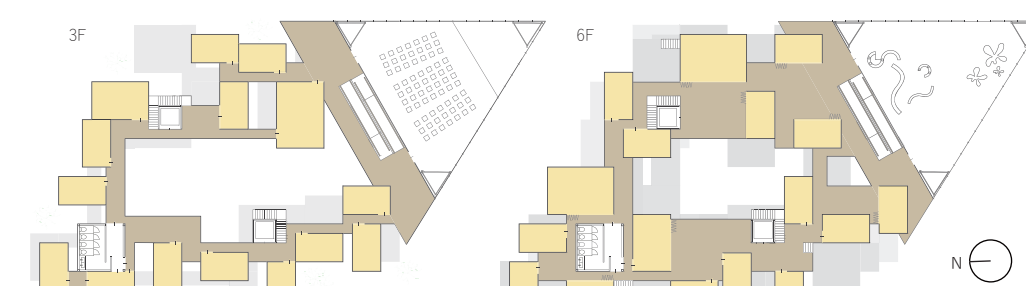
歴史的な伝統を大切にしながら、常に新しい文化を取り入れる、浅草。現在も国を問わず多くの人を魅了し、クールジャパンの代表的な街として、新しい姿を見せてくれます。しかし、観光客が見て、触れて、感じている浅草はその魅力のほんの一部です。私達は浅草に当たり前にある文化・歴史・活動・技術・物・食といったコンテンツを再評価することで、これまで見てこなかった新しい浅草に出会える建築を提案します。

03. ハイブリッド吊り木造システム



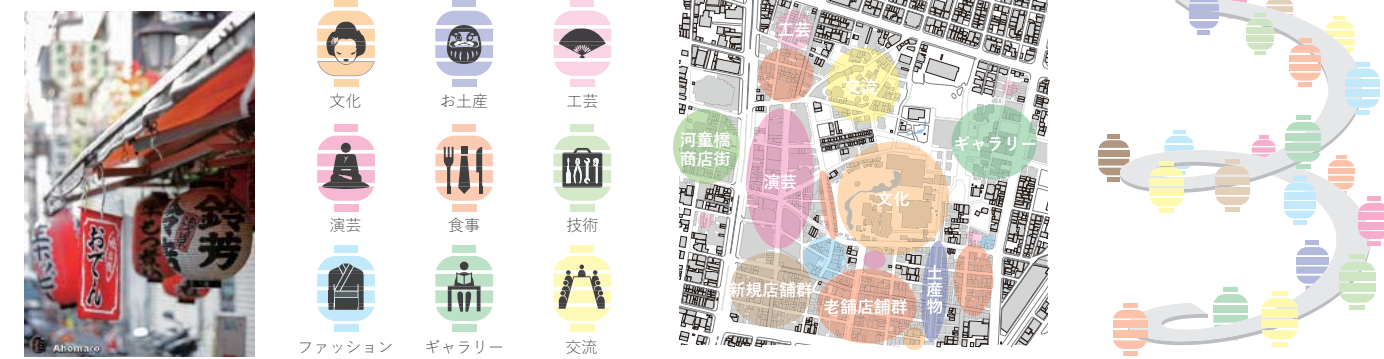
構造は主に、建築全体を支えるメガストラクチャーと提灯を維持する構造の2つに分けられます。提灯は小断面の木構造とすることで軽量化が図られます。ブリッジと提灯をメガストラクチャーから吊ることで、GLはフレキシブルで開放的な空間となります。

04. 浅草の多様性が現れる各階平面



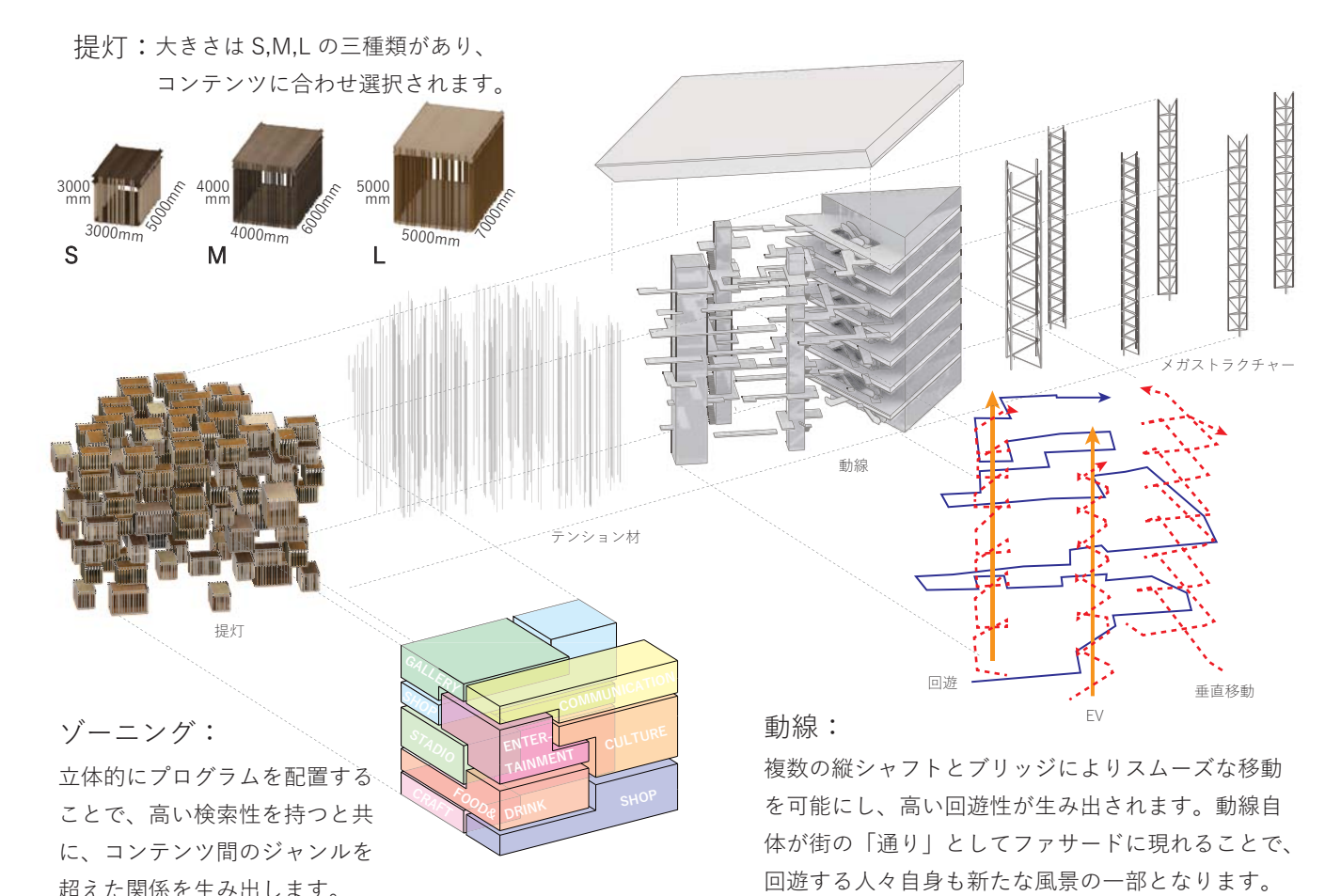
低層部から段々と密度が高くなる提灯配置により、内外の厚みをもった空間が作られます。低層部はボリューミーな、高層部はよりディープな浅草体験をもたらします。

02. 営みの提灯が街を彩る



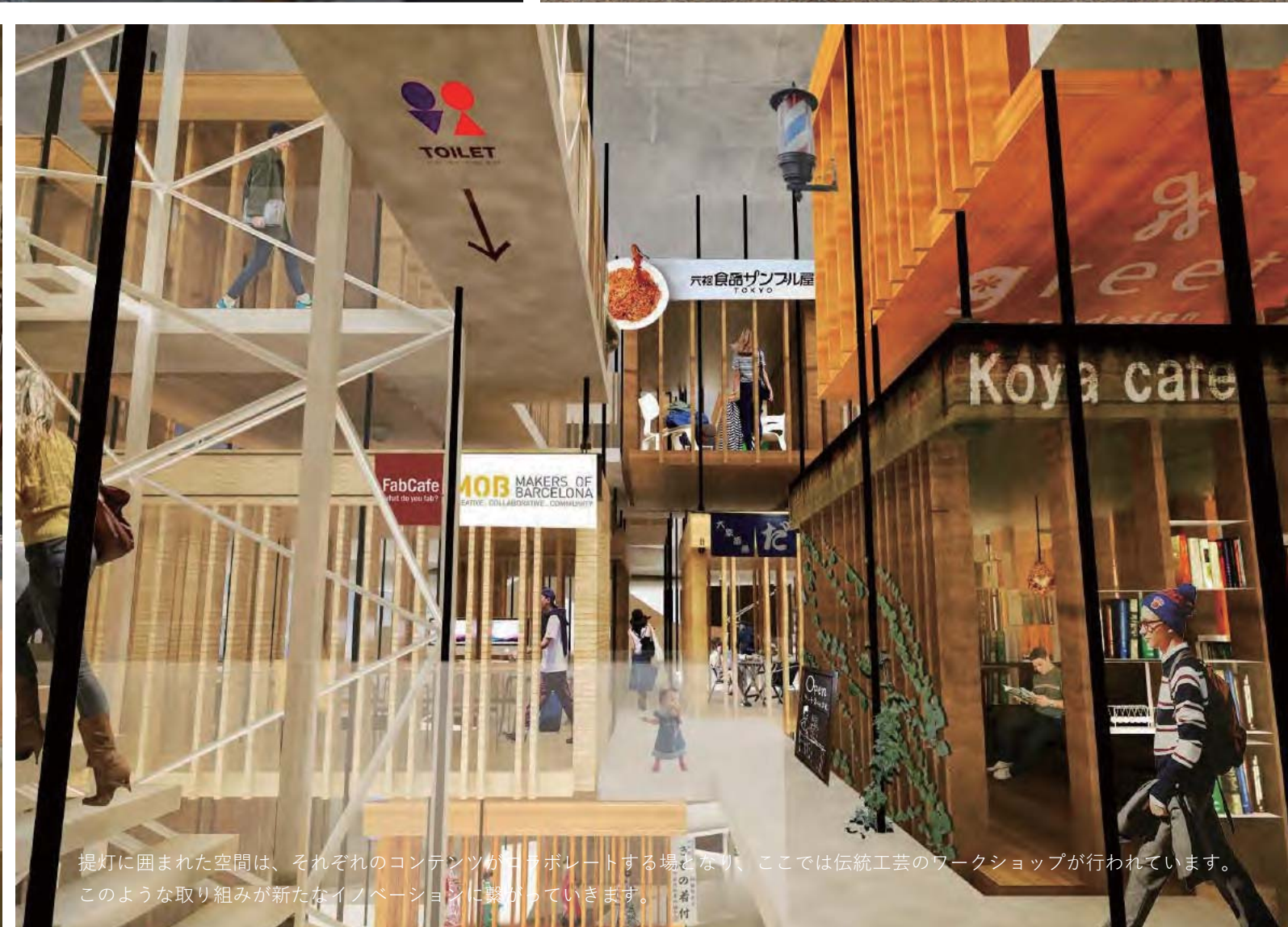
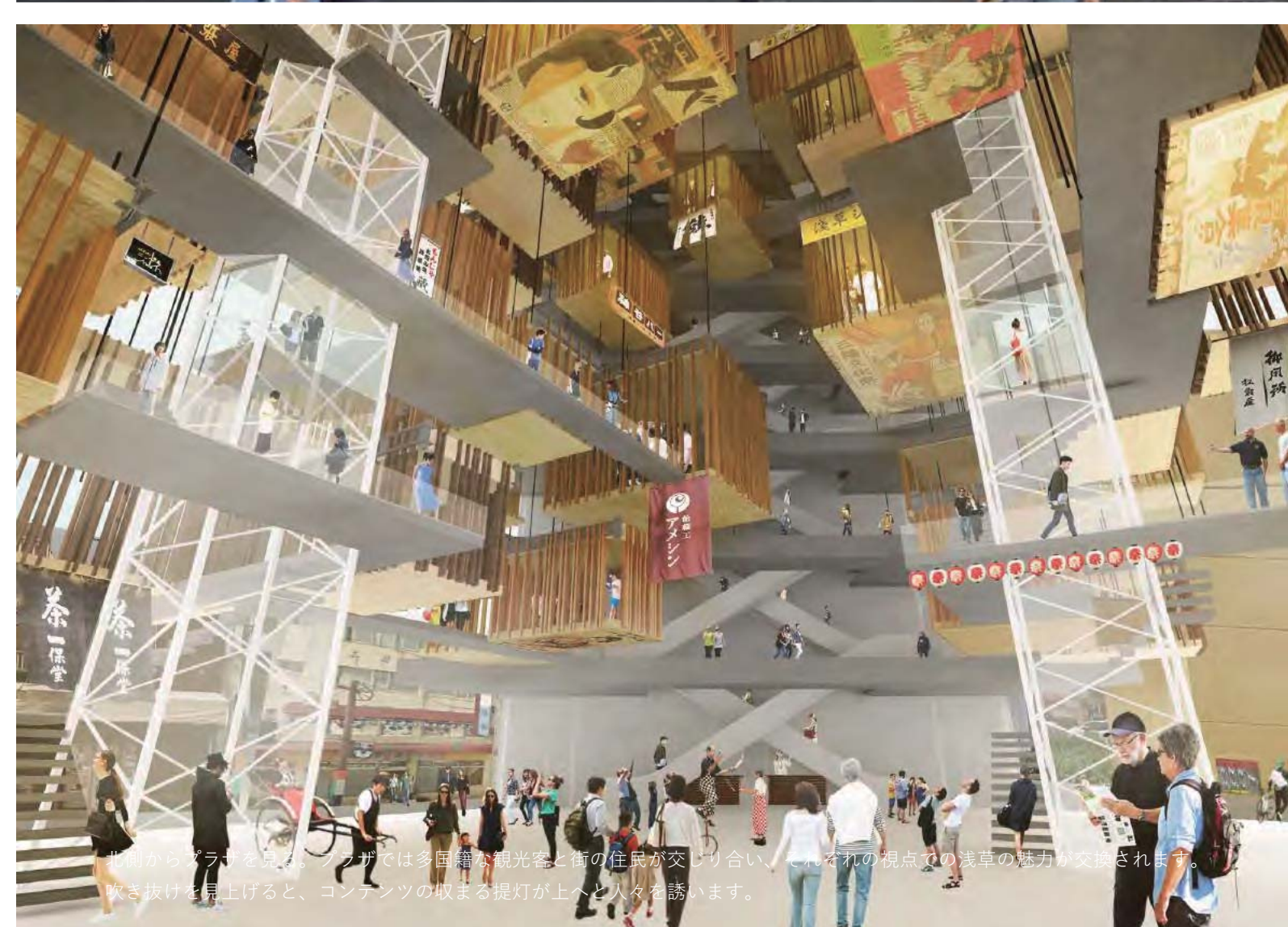
浅草でよく目にする提灯は営みを表すサインとしての役割があります。浅草のまだ発見されていない魅力的なコンテンツの一つの提灯として、ファサードに表すことで浅草の新たな一面を顕在化させます。様々なスケール感、営みが集積するという街の特徴を建築内に立体的に展開することで、街とシームレスにつながり、今まで独立していた要素が関連付けられ、新たなイノベーションを生み出します。こうしてできた建築は最先端の浅草の動向を世界に発信するもう一つの大提灯となります。

05. 構成



断面図

機能ごとに異なる色を渗ませる提灯は中層階に空気の塊を内包するように配置しました。様々なコンテンツを眺めながら回遊することで、観光客はもちろん、浅草に暮らす人々も新たな浅草一面を垣間みることが出来ます。



hlc00258